

ID No.	126
研究課題名	成人 T 細胞白血病(ATL)における癌幹細胞マーカーの探索とその細胞生物学的解析
研究代表者	宇都宮 與 (鹿児島大学・客員教授(今村病院分院・院長))
研究組織 受入教員 研究分担者	渡辺 信和 (東京大学医科学研究所・特任准教授) 中野 伸亮 (今村病院分院・血液内科造血細胞移植部長) 石垣 知寛 (東京大学医科学研究所・特別研究員)
研究報告書	
平成26年度東京大学医科学研究所共同研究申請書(継続申請)研究計画書に示した通り、現在、当研究を進めている。研究は順調に進んでいると考えられる。 急性型ATL患者の末梢血単核球よりHAS-Flow法を用いて、ATL細胞のみを特異的に取り出し、詳細に細胞表面抗原解析をおこなうことで、今まで知られていない急性型ATL細胞の細胞表面抗原の発現(あるいは低下)の特徴が明らかになった。また、同様に、ATL細胞だけを特異的に取り出し、共培養系を用いた細胞生存・増殖能の評価を繰り返した結果、間葉系細胞上で生存・増殖可能な細胞は特定の分画に高度に濃縮される事が分かってきた。 また、免疫不全マウスへの移植・評価系を確立し、現在、<i>In vivo</i>モデルにおける造腫瘍形成能の評価をおこなっている。 これらの研究結果の一部に関しては、すでに学会発表した。継続してさらに研究をすすめ、研究完了時点で論文発表する予定である。	